

委員会研修報告

各常任委員会が先進地などを調査しました。

民生文教委員会

高齢者等の安心安全生活サポート事業について

昨年10月に、島根県奥出雲町を行政視察しました。

奥出雲町は、平成17年3月に2か町が合併した人口約1万5千人のまちで、高齢化率は36%と非常に進んでいます。

奥出雲町は、平成19年に町内全戸に整備した光ファイバー網を活用し、操作が簡単で高画質、大画面の多機能テレビ電話を高齢者宅等に設置、コールセンターや民生委員等と連携して、安否確認や生活相談等を行っています。

また、町外の家族とのテレビ電話やワンタッチ安否確認メールのほか、健康管理、買い物支援などのサービスも行われています。



奥出雲町の多機能テレビ電話

産業建設委員会

猪・鹿肉の有効活用について

昨年11月に、京都府京丹後市へ行政視察を実施しました。

京丹後市は、平成16年に6町が合併し、人口は約6万人、面積は約500平方キロメートルの市です。

市の総面積の約7割が森林で、猪や鹿などの鳥獣被害が年々拡大しています。そこで、農家にとって嫌

われ者である猪・鹿を捕獲し、食肉として利用するという逆転の発想で、観光客の誘致や地域振興を図るため、食肉処理施設を平成22年に整備し、地元の猟友会に業務委託しています。

レストランやホテルなどへの販売、さらに特産品などの開発を行うことにより販売の拡大が図られています。



説明を受ける委員

総務財政委員会

ケーブルネットワーク事業について

昨年11月に、奈良県及び京都府の一部をサービスエリアとしてケーブルネットワーク事業を展開している「近鉄ケーブルネットワーク株式会社」へ視察を行いました。

同社は、平成15年から大容量の光ファイバー網を構築し、事業を展開している会社です。また、奈良県山間部の情報通信格差を解消するために、

「こまどりケーブルテレビ株式会社」を設立し、サービスを提供しています。

今後の事業展開としては、買い物の宅配や高齢者の見守り事業など、IT基盤を活用した付加価値が重要であり、地域に密着したサービスを展開することを目標に取り組まれています。

今回の視察では、情報基盤整備の手法や概算事業費、今後の情報化の課題等を中心に視察を行いました。



説明を受ける委員